



よく生きよ

大仙市立大曲中学校
3年学年通信 No. 44

「共働・共励」「共鳴・共感」

令和3年10月25日

修学旅行に行ってきました

21日(木)・22日(金)の2日間、蒼令学年の修学旅行が行われました。

各クラスとも、計画に沿って、思い出に残る活動をすることができました。なかなか足を運ぶことのない県北部の観光地や体験施設を訪れ、県内各地の魅力や将来に生かせる資源を自分の目で見て、いろいろなことを考える機会にもなったことと思います。

詳しい内容はそれぞれ、週末にたくさんの土産話をお聞きになったこととは思いますが、それぞれの見学先での様子を簡単に紹介します。

男鹿水族館GAOでは男鹿の海を再現した大水槽やシロクマ、ペンギンなどを見学しました。水族館の裏側見学では普段見られない舞台裏や別角度からの水槽を見学する貴重な体験ができました。

なまはげ館では迫力満点のなまはげ問答に興味津々でした。なまはげ台帳に載った普段の行動をたしなめられた生徒もおり、盛り上がりを見せました。

プチカヌー体験では最初のうちはカヌーの操作に戸惑っていた生徒たちもすぐに慣れて、ゆったりとした川の流れの中でカヌーの旅を楽しんでいました。

きみまち阪散策では恋愛成就のパワースポットとして有名なきみまち阪公園の中を散策し、きれいな景色を見てることができました。

尾去沢鉱山では秋田の代表的な地下資源であった尾去沢鉱山での採掘の様子を再現した施設を巡り、当時をしのぶことができました。その後の砂金取り体験では砂の中から出てきた金や天然石に歓声を上げていました。

康楽館では伝統ある舞台を見学し、舞台の裏を見たり、実際の舞台上がって、体験したりすることもできました。

能代エナジウムパークでは能代の火力発電や風力発電などの秋田の発電事情について知ることができました。

あきた白神体験センターではシーカヤックや白神山地のふもとを散策するなど、自然に触れる体験ができました。館内ではユニカールやストラップ制作を体験し、楽しいひとときを過ごすことができました。

ホテルでは豪華な食事に舌鼓を打ちながら、友達と談笑したり、各部屋でお菓子を囲んで楽しいひとときを過ごしたりすることができました。

相次ぐ変更でご家族の皆様へはご心配もおかけしましたが、県北部を回る1泊2日の日程で無事、実施することができました。ご協力ありがとうございました。修学旅行に向けて、北東北3県のいろいろな観光施設や震災遺構などのことを調べ、クラスで話し合いながら計画を立てたことも貴重な経験となったことと思います。今回、実施することはできませんでしたが、将来、機会があれば、ぜひ、今回計画した見学地に足を運び、実際に自分の目で確かめてほしいと思います。

修学旅行での様子を裏面に紹介します。

小・中連携あいさつ運動

10/27(水)には小・中連携あいさつ運動が行われます。

今回は全校生徒会執行部員、学年生徒会執行部員と一部のボランティア生徒が参加することになります。出身小学校前で7:30~8:00に活動し、終了後、学校へ向かうことになります。参加の有無、朝の予定をご家庭でご確認ください。